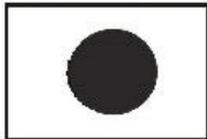


# 日中がわぐち

No.56

2017年7月15日

ホームページ  
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会  
川口市上青木1-20-3  
TEL 048-253-2177  
発行責任者 加藤展祐

編集・制作 電腦倶楽部



会長 挨拶

## 総会と新春懇親会

林 芳男

今年も二月十一日に「江南春」にて、川口市日中友好協会の総会・懇親会を開催いたしました。

定期総会では加藤理事長が規約に則り議長となり、活動報告、決算報告、役員改選、活動計画（案）、予算（案）と一〇五号議案まで滞りなく承認されました。

総会終了後、川口市日本



一等書記官 邵宏偉氏 祝辞

中国友好協会創立以来初めて二十五年以上の協会活動功勞者、石塚栄・波多野篤・小林英明・平山安次・内野繫子・井上不二子・柳沢智房・前田稔夫の八名を永年功勞者として表彰が行われました。

次に特別功勞者として栗原喜一郎顧問、本多路子教室代表二名の表彰を行いました。二十五年以上の永年功勞者の表彰は今後定例化していきたいと思います。

もう一つの取り組みとして総会終了後、懇親会開始ま



総会審議中

での三十分間「陽二蓮ミニコンサート」を開催致しました。やはりプロの歌手が入ることにより会場は華やかさに包まれて和やかな雰囲気でした。

永年功勞者の表彰やミニコンサートも昨年の反省会で出された企画案です。会を盛り上げるような提案には今後積極的に取り組み、増員に結び付けたいと思います。懇親会には六十四名が参加して奥ノ木会長（市長）の挨拶

挨拶で始まりました。続いて主賓の中国大使館友好交流部 邵宏偉一等書記官、川口市議会吉田議長、川口市教育委員会 茂呂教育長の挨拶と続きました。

今年も多数のご来賓の皆様と講師の先生方に出席いただき盛大で華やかな会となりました。来賓の中には「日中友好青少年書道交流展」でお世話になりました、川口書道連盟の市川嘉泉会長や県日中友好協会の役員の方々にも参加いただきました。

乾杯では恒例の栗原顧問の音頭をいただきました。

来賓の皆様の中には一年振りにお会いする方々もおりますが、乾杯の音頭と共に打ち解ける様子は正に「友好の輪」の賜物と思います。今年の九月一日で川口市日中友好協会は創立四十五周年を迎えます。来年の懇親会は四十五周年記念にふさわしいというより、記憶に残るような催しを企画したいと思います。

第三十九期

入門Bクラス修了式

副事務局長 内野繁子



理事長 祝辞

川口中国語教室第三十九期生入門Bクラス修了式は、三月十七日に栄町公民館で一時間の授業のあと、唐光蓮老師より一人ひとりに修了証が授与されました。昨年四月に二十一名で始められたクラスは、途中編入者を含め二十二名の受講生が修了式を迎えました。うち十二名が初級Bクラスに進級しました。



教室代表 祝辞

一年間新入生のお手伝いをしていたいただいたクラス幹事の矢澤昭人さん、杉浦契子さんご苦労さまでした。



第39期生修了記念写真

第四十期

入門Bクラス開講式

幹事 林芳男・関健二

四月七日（金）PM七時から幸栄公民館で入門Bクラスの開講式が行われました。当初、受講者が集まらず心配しましたが、締切り後も申込みがあり、十一名と見学者一名を加えた十二名での開講式となり一安心しました。



理事長 挨拶

幸栄公民館は四月一日（土）にオープンしたばかりの新しい公民館です。

幸町小学校に併設された公民館で会議室も栄町に比べ広く新しいため、気持ち良く授業を受けられそうです。受講生の皆さんはほとんどが中国語は初めてで、受講動機も仕事の関係や子供が手を離れたので、習い事をしたい、定年後何かチャレンジしたいとか、中国旅行に行つて興味を持つたなど様々です。このように受講動機も生活環境も違う人たちが、中国語を学ぶという目的で集まる機会を大事に活かし一年間、誰も欠ける



教室代表と講師・張老師

ことなく受講できるよう幹事として張凡先生をサポートしてクラスを盛り上げていこうと思います。



第40期生スタート

川口書道連盟書道展

五月三〜五日 リリアにて

前田 稔夫

川口市書道連盟主催の川口書道展に加藤理事長・前田副理事長・栗原顧問・林事務局長・内野副事務局長の五名でお祝いに行きました。最近パソコンに頼り、文字を書かなくなつたので、華やかな条

幅、落ち着いた書、流れるような流麗な仮名書き等素晴らしい書の芸術に触れさせていただけました。

川口市日本中国友好協会  
中国大使館 陽光学校  
生徒・家族と記念交流会

林 芳男

五月二十八日(日) 中国  
大使館陽光学校小中学生十六



空飛ぶ絨毯

人とその家族二十三人、総勢三十九人の一行が汪婉大使夫人を先頭に川口市のSKIP

シティに初夏を思わせる陽気の中到着しました。

川口市といえは鋳物工場や安行の植木を連想しますが、新しい川口市の姿を是非見てほしいと、SKIPシティ訪問を以前からお願いしてきました。また川口市日中友好協会が今年九月一日で創立四十五周年を迎えるということと、六月一日が中国の「子供の日」ということで話が一気に進み、五月二十八日に陽光学校生徒とその家族が訪問することになりました。

SKIPシティは映像産業拠点として川口市が「科学館」を、埼玉県が「映像ミュージアム」を運営しています。平日のSKIPシティは社会科見学の一環として県内や都内の小学生が数多く来館して賑やかです。映像ミュージアムでは映画やアニメの作り方を体験しながら学べ、スタジオではアナウンサーや天気予報士体験ができ、「空飛ぶじゅうたん」に乗って世界

旅行・恐竜の世界探検もできます。CG合成や映像制作が楽しく学べる施設です。



自己紹介

最初は言葉の問題などで喜んでもらえるか心配していましたが、杞憂に終わり、子供たちだけでなく大人も喜んで参加していました。視覚に訴えるため、即、楽しめるので安心しました。

次に向かいの施設、科学館に移動しました。この施設は説明員無しで自由に遊べることで子供たちは飛び回っていました。子供たちなりに考えることが逆に制約なく楽しい

のかと考え直しました。ミュージアムや科学館共に当初の心配は不要で本当に楽しんでいました。

午後はグリーンセンターに移動し昼食を取りました。今回大使館でもこれだけのセクシオンが集まることはほとんど無いということで、自己紹介をお願いしました。

政治、商務、文化、交流、武官室、領事、総務、国際、地域、教育、科学技術、文匯



会長の歓迎挨拶

など若い人たちが多く感じました。彼らと川口の若者が

交流できればと感じました。その後シャトー赤柴に移り奥ノ木市長を待ちました。

この日二十件の公務の中駆けつけて頂いて大使夫人も感激です。市長は挨拶の後、子供たちに日本について質問しました。放射能の問題や中国が嫌いといわれる理由など、時には市長を困らせる質問もありましたが、丁寧に答えて頂きました。その後市長を囲み記念写真を撮りました。



記念集合写真

最後まで子供たちは元気に飛び回り、ミニSLに乗り手

を振る姿は本当に楽しそうでした。交流会を企画して良かったと感じました。

※中国大使館HPの《駐日大使館陽光学校、川口市「SKIPシティ」にアップされていますので見てください。



グリーンセンターの新幹線

編集後記

毎年川口市の小学生らが中国大使館を訪問しています。今回、中国大使館・陽光学校の生徒達をSKIPシティとグリーンセンターに招待した交流会は大成功でした。スナップ写真から子供たちの歓声が聞こえてきます。